

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

気高く芯の強きひとであれ！

副理事長 神代 晃嗣

人材開発室担当常任理事 伊藤 龍平

1 我々が暮らす札幌は、先人たちの努力の積み重ねにより、溢れる「富」を手にした一方
2 で、解決しなければいけない様々な問題を抱えています。官主導型の色濃い地域性などに
3 より市民の能動的な行動力や困難に立ち向かう精神性が高いとは言えず、未来に希望を見
4 出しにくくなっています。今後ますます環境が変化していく中、将来起こり得る課題に正
5 面から向き合い、強い信念をもって時代を牽引する、勇猛な心漲る人材の育成が必要です。

6 まずは、環境の変化を見据え、札幌が力強く成長し続けるために、市民が地域性をしっ
7 かりと理解した上で、自国の常識に捉われることなく問題の本質を見極める目を養い、時
8 代の能動者たらんとして行動することで、既存の社会構造を描き換える傑出したリーダー
9 を育成します。そして、札幌に多くの可能性を見出し、理想のまちを実現するために、確
10 かな歴史観と郷土愛を確立した上で、先人たちからの経験を継承すると共に、有形無形問
11 わず札幌の特性を最大限活かし、俯瞰的な視野をもって未来へつなぐことのできる人材を
12 育成します。また、青年会議所運動をより市民に波及させるために、我々自身がJ A Y C
13 E Eとしての可能性と価値を深く認識し、品格ある青年として一人ひとりが誇りをもって
14 行動することにより、組織の魅力を伝播すると共に、組織内の連携による効果的な会員拡
15 大に取り組みます。さらに、我々が理想を掲げ地域に必要とされる運動を推進していくた
16 めに、同志となる候補者を発掘し、地域に対する責任感と明確な使命をもったJ A Y C E
17 Eの育成を図ると共に、J C運動に賛同し、同志が集結する仕組みを構築してまいります。

18 自らが住み暮らすまちに対して誇りをもち、明確な未来を描くことのできる人財が増え
19 たとき、その姿を見たいまを生きる多くの市民が触発され、解決すべき問題に立ち向かう
20 力が札幌に生まれ、次代へつなげることで、郷土愛溢れる自律したサッポロを創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

すべては自律したサッポロのために

副理事長 森田 宣広

未来創造室担当常任理事 小野木 完司

1 我々の暮らす札幌は、先人達の弛まぬ努力により、まちの発展を続けてまいりました。
2 その反面、超高齢社会の進行や環境問題などの多岐に亘る社会問題にも直面しており、地
3 域活力の低下や経済の疲弊が懸念されています。いまこそ、札幌青年会議所が問題を先送
4 りせず、大胆な発想で運動を展開し、活気に満ち溢れたサッポロの創造へ向けた道しるべ
5 を思い描き、市民と共に、真の豊かさを実感できるまちづくりを実践する必要があります。

6 まずは、明るく豊かなサッポロを創造するために、喫緊の問題である超高齢社会の影響
7 によって大きく変化してくる札幌の社会構造を予測し、様々な課題が発生する未来につい
8 て考える場を創出すると共に、地域の力を集め新たな価値を生み出す流れを創り、より明
9 確に未来へ向けた運動を展開してまいります。そして、安全で安心して暮すことのできる
10 次世代環境を創造するために、早急に課題解決が求められる環境という分野について市民
11 と共に議論し、我々の地域におけるエネルギー政策や、北の大地に眠る豊富な自然エネル
12 ギーの効果的な活用方法など、今後のあるべき姿を示します。また、札幌が輝く地域へ発
13 展していくために、現状の「自助」「共助」「公助」を再認識すると共に、人と人、人と地
14 域、地域と地域のつながりが強固な共助社会の創造へ向け、互いに支えあうことができる
15 新たな仕組みを模索するなど、共助の精神を根付かせ、まちの魅力をより高めてまいりま
16 す。さらに、札幌青年会議所をより強固な組織にするために、室一丸となり魅力ある運動
17 を展開すると共に、その魅力を伝播し、プライドをもち会員拡大に邁進してまいります。

18 我々責任世代の確固たる覚悟で臨む運動により、様々な社会問題を解決へ導き、安全・
19 安心に暮せる生活環境が整い、市民が積極的にまちづくり運動に取り組むことで、人と地域
20 がつながり、互いに支え合う精神が芽生え、郷土愛溢れる自律したサッポロを創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

J A Y C E Eの魅力をまちの輝きへ

副理事長 油矢 紗也香

J Cの魅力発信室担当常任理事 三品 幸司

1 情報が多岐に亘り発信できるようになった現代社会において、市民が受け取る情報を明
2 確に伝えきれていない現状や、近年の札幌青年会議所の会員増加により、今まで以上に会
3 員同士の交流が希薄化される懸念がある中、我々は、より市民に寄り添う感性と感覚をも
4 って運動を展開することが重要です。今こそ我々は、組織内外の相互調整機能を強化する
5 と共に、よりタイムリーで効果的な情報発信を可能とする愛される組織の確立が必要です。

6 まずは、まちに札幌青年会議所の運動を伝播させるために、受け手側のニーズに応えう
7 る広報戦略を構築し広域に亘り情報発信することで、市民へ我々の運動に共感していただ
8 きL O Mの認知度を高めます。そして、L O Mの活性化を図るために、メンバー間の情報
9 の共有化を図り、札幌青年会議所が邁進する全ての運動の情報や、様々な場面で仲間が活
10 躍する様子などをメンバー一人ひとりに届け、J C運動に対する意欲の向上を促進します。
11 また、我々自身がJ C運動に対する機運とL O Mへの帰属意識を高めるために、メンバー
12 同士が互いに思いやり信頼と尊敬の心を醸成する機会を創出し、組織の結束力を強固にし、
13 一体感を高めます。さらに、メンバーの資質を向上させ組織全体の成長へとつなげるため
14 に、メンバーに姉妹J Cとの相互理解を深める場を創出すると共に、日本J Cや北海道地
15 区協議会の事業の意義や目的を伝え、様々な学びの機会へ参画していただけるよう促しま
16 す。そして、札幌青年会議所が邁進するまちづくり運動の推進力を向上させるために、J
17 C運動の素晴らしさを多くの人に伝え共感していただくことで会員拡大につなげます。

18 組織に活気が満ち溢れ果敢に挑戦し続ける札幌青年会議所の姿勢は市民の目に鮮やかに
19 映り、共感を得ることで運動の波及効果が向上します。地域の期待に応える魅力あるJ A
20 Y C E Eが次代を切り拓きまちに輝き続け、郷土愛溢れる自律したサッポロを創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

同志と共にさらに魅力ある組織へ！

専務理事 小田 祐司

総務室担当常任理事 阿部 英介

1 札幌青年会議所は永きに渡り崇高な理念を掲げて運動を重ね、社会的な信用を積み上げ
2 てきた団体です。しかし、社会の変化に伴い財務の不透明さやコンプライアンス問題など、
3 一昔前には問題視されなかった課題により、多くの企業や団体が社会的な信用を失ってい
4 ます。64年の歴史を守りよりよいサッポロを創る運動を進めていくには、社会からの信
5 頼に応えることができる透明性と信頼性を高めていく組織環境の構築が必要となります。

6 まずは、札幌青年会議所がさらなる発展を遂げるために、組織としての規範の調査・研
7 究を行い潜在している問題点を顕在化させることで、地域社会に認められる基準での審査
8 の基盤を構築します。そして、地域社会に対するLOMの規律をより高めるために、各運
9 動の費用対効果の検証や、各会議・委員会が行う会計の確認と、コンプライアンスの徹底
10 を土台とした審査と指導を強化する取り組みを行います。また、札幌青年会議所が目指す
11 運動の方向性を明確にし共有化を図るために、理事長所信を具現化するべく本年度の運動
12 に取り組む意識の醸成や先輩諸氏との交流の機会を創出し、メンバー同士の絆をより深め
13 ることができる機会を創出します。さらに、札幌青年会議所の運動をより市民に波及させ
14 るために、メンバー同士で真摯に議論を重ね事業内容に対内外へ発信し、地域社会からの
15 信頼を得る取り組みを行います。そして、札幌青年会議所の推進力と発信力を高めるため
16 に、メンバーが時代のフロンランナーとしての自覚をもった魅力のある青年経済人とな
17 り、青年会議所の理念と運動の素晴らしさを社会に伝播させ、会員拡大運動を展開します。

18 我々が市民に寄り添う感性と感覚をもって運動を遂行し、地域からより信頼される組織
19 として受け入れられ、運営の基盤と組織の本質をより明確な方向へ導き、その効果を最大
20 限に発揮できる組織環境を構築することで、郷土愛溢れる自律したサッポロを創造します。